

命を守る仕組み

地域運営体の挑戦

仙北市長
門脇 光浩

先月、都内で「国のかたちとコミュニティを考える市長の会」に出席しました。この会で地域運営体の重要性を再確認しました。町内会の加入率が激減している西日本では、自治組織（多くは小学校区がエリア）の育成に公費を投入する市町村も出てきて、既に幾つもの成果を上げているとのこと。

ていない分、防災訓練を徹底したり、「グラツ」ときたら、すぐに声をかけ合って裏山に逃げる（足腰の弱い高齢者をおんぶする人も決まっていた）習慣づけができていたから、という分析です。

どうして今、コミュニティ（自治組織・地域社会）の再生が注目されているのか。それは地域住民の強固な結び付きが、究極のセーフティネットだということ、東日本大震災で再認識したからに他なりません。

今年度も、各地域運営体では、地域の意志に基づいた取り組みが行われるでしょう。尊い人命を救う仕組みとして、地域に根ざして欲しいと強く思っています。残る角館地域の運営体設立に向けても、皆さんのご理解をお願いいたします。

高知県坂出市の綾ひろし市長から興味深いお話しをお聞きしました。大震災で被災した複数の漁村では、防波堤の整備率が低い地区の方が、津波の犠牲者が少ない傾向があったとのこと。設備が整っ

今年度も、各地域運営体では、地域の意志に基づいた取り組みが行われるでしょう。尊い人命を救う仕組みとして、地域に根ざして欲しいと強く思っています。残る角館地域の運営体設立に向けても、皆さんのご理解をお願いいたします。

大震災支援 NEWS & Information
ニュース&インフォメーション

問合せ：東日本大震災支援本部 ☎ 43-0261



被災地から避難の女川町の皆さんと交流

5月6日、仙北市では、東日本大震災で被災した、宮城県女川町からの避難者を受け入れ、現在110人の皆さんが、高原地区の4つのホテルに滞在して、新たな生活を送っています。

12日には地元で地域興しを行っている「田沢湖水深委員会（堀内新平会長）」の企画で、高野・高原地区の皆さんとの交流会が行われました。会場の田沢高原ホテルには、避難している小中学生とその保護者、高野・高原地区の住民約60人が参加、自己紹介の後、みんなで一緒に餅つきを楽しみました。

17日には女川町との意見交換会が開かれ、避難生活で必要なことについて話し合いました。「洗濯物を干すようなスペースの確保」や「公民館事業のメニューを知らせて欲しい」など意見が出され、市が皆さんをバックアップするための貴重な意見交換会となりました。

また、避難者代表の鈴木誠喜さんが「この霧を見て、女川の海の朝靄を思い出し、沢の水音を聞いて潮騒を思い出します」「私たちを受け入れてもらい、本当に感謝をしています」と感謝の言葉を述べました。

市では今後も、被災地での活動や避難の受け入れなど、支援活動を行っていきます。

保健の掲示板

1

胃がん検診がはじまります！

6月8日から、平成23年度の胃がん検診が角館地区からはじまります。

がんは他人の病気ではなく、自ら予防や治療ができる病気です。年に1度の検診を、早期発見・健康確認のために受診しましょう。また、今年度は市の胃がん検診を3年間受けていない方（43～64歳）に、『がん検診受診勧奨センター（☎018-884-5531）』からの電話や手紙で胃がん検診を勧めさせていただきます。会社やドック等で受診予定がない方は、ぜひ市の胃がん検診を受診してください。

詳しくは、世帯に配布された日程表やお知らせをご覧ください。ご自分の地区の検診日を確認し、検診を受けましょう。都合の悪い場合は他会場で受けることができますのでご確認ください。

- ◆対象／40歳以上（年度年齢）
- ◆受付時間／午前6：00～8：00
- ◆持参するもの／健診案内用紙（受診票）、保険証、健康手帳（持っている方）
社会保険の方は自己負担金（1,300円）、クーポン券（41、51歳の方）
- ◆問合せ／仙北市保健課 ☎ 55-1112

2

認知症の方を支える家族の会

認知症の方を自宅で介護されている家族の方々は、様々な悩みを抱え、その思いは深く複雑ではないでしょうか。

一人で抱え込んではいらい介護の悩みも、同じような経験をしている人どうして、話すと楽になったり介護のヒントがつかめたりします。

包括支援センターでは、毎月1回、家族の方々とお話の会を開催しています。たくさんの方の参加をお待ちしています。

- ◆日時／6月13日（月）10：00～11：30
- ◆場所／西木総合開発センター2階 農林研修室
- ◆内容／①認知症についての相談
②悩みを出し合いみんなで考えましょう。
- ◆対象／認知症の方を介護している家族
- ◆問合せ／仙北市包括支援センター ☎ 43-2283

3

認知症サポーター養成講座のご案内

認知症サポーター養成講座の出前講座を実施します。ご希望の方は、事前に包括支援センターにご連絡ください。

- ◆対象／市内の小・中・高校生、会社、町内会等々
- ◆開催／随時
- ◆認知症サポーターとは…何か特別な事をする人ではありません。認知症について正しく理解し偏見をもたず認知症の人や家族を温かく見守る応援者として自分のできる範囲で活動します。学んだ知識を伝えたり認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。「認知症サポーター養成講座」を受講した方には「認知症の人を理解しています」という意思を示す「オレンジリング」をお渡しします。
- ◆問合せ／仙北市包括支援センター ☎ 43-2283

4

介護予防教室
「いきいき元気アップ教室」
～健康体操～

仙北市包括支援センターでは、高齢者の方々が住み慣れた地域で元気に日常生活を営むためのお手伝いをさせていただいています。

今回は、高齢者の方々のために考案された「健康体操」を計画しました。楽しみながら運動し、軽く汗をかき、心地よい気分になること間違いなしです。たくさんの方の参加をお待ちしています。

- ◆会場／1回目：田沢湖公民館2階
2回目以降：田沢湖健康増進センター
- ◆期日／6月23日（木）、30日（木）
7月7日（木）、14日（木）、21日（木）、28日（木）
※6回コースで行います。途中参加でも、途中欠席でも心配せず申し込んでください。
- ◆時間／14：00～15：30
- ◆対象／65歳以上の方で要介護・要支援の認定を受けていない方
- ◆定員／20人程度
- ◆講師／柴田栄宜（角館町）
- ◆準備するもの／水分補給のための水かお茶、動きやすい服装、タオル、めがね（必要な方）
- ◆申込締切／6月15日（水）
- ◆申込・問合せ／仙北市包括支援センター ☎ 43-2283

5

介護保険と高齢者の保健福祉に関するアンケートにご協力をお願いします

仙北市と大曲仙北広域市町村圏組合では、介護保険制度などの改正を踏まえ、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」を平成23年度中に見直しすることにしています。

見直しにあたって、福祉や介護・健康に関するご意見、ご要望をお伺いし、高齢者の皆様が暮らしやすいまちづくりを進めていくためのアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、仙北市にお住まいの65歳以上の方の中から無作為に抽出した500人を対象に行うもので、調査内容は目的以外に使用することは一切ありません。アンケート用紙が送付された皆様には、お手数をお掛けしますが、調査の目的をご理解いただき回答にご協力くださいますようお願いいたします。

- ◆問合せ／仙北市長寿支援課 ☎ 43-2281
仙北市包括支援センター ☎ 43-2283

6

6月献血日程

- ◆日時・場所／6月21日（火）
10：00～10：50 榊田沢モータース
12：10～13：00 榊日東光器田沢湖工場
13：20～14：30 介護老人保健施設 田沢の郷
14：50～16：00 榊成立田沢湖工場
- ◆問合せ／仙北市保健課 ☎ 55-1112

7

6月の休日歯科当番医

- ◆5日／タケダ歯科クリニック（大仙市大曲）☎ 0187-62-6480
- ◆12日／船木歯科医院（大仙市神宮寺）☎ 0187-88-1123
- ◆19日／岩田歯科医院（大仙市刈和野）☎ 0187-62-8264
- ◆26日／船木歯科医院（大仙市大曲）☎ 0187-63-0027

